

こうしていろいろな言葉を覚えてきたら、今度は本を読んでやりましょう。もちろんひらがなだけの絵本などでなく、漢字がまざった本と一緒に文字を追いながら読みます。

そのうちに、子どもは読んでもらわなくても、ひとりで読むようになります。子どもは自分でできるということに非常に喜びを感じますから、こうなれば自分のほうからどんどん本を読みたいと思うようになるはずですよ。

いきなり「本を読みなさい」と言っても無理です。強制して読ませたとしても、消極的な子どもをつくるだけです。いつも口をあけていれば、親が食べ物を与えてくれるから、言われた通りにしていればいい……というような子どもになり、知識欲の乏しい子どもになってしまうのです。

本当の教育とは、自主的にヤル気が起きるように道を開いてやることです。つまり子どもの意欲をよい方向に伸ばしてやることなのです。

子どもが漢字に興味を待っているかいないかは、子どもの目を見れば容易にわかるはずです。無理な強制は、子どもをダメにします。子どもの意欲を伸ばしてやることこそ、親としての最大の義務なのです。